

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課

担当課長名：桜田 昌之

事業名 一般道道北檜山大成線	事業区分 地方道	事業主体 国土交通省 北海道開発局	
起終点 自：北海道久遠郡せたな町北檜山区新成 至：北海道久遠郡せたな町大成区太田	延長		9.2 km
事業概要 北檜山大成線は、せたな町北檜山区から太櫓地区、太田地区を經由して大成区に至る延長3.4 kmの一般道道であり、このうち、せたな町北檜山区から大成区までの延長9.2 kmが開発道路に指定されて、事業を進めています。当該事業は、交通不能区間の解消による新たな交通ネットワークの構築、災害による孤立化集落の解消、個性ある地域の形成等に寄与する道路です。			
S47年度事業化	H1年度都市計画決定	S47年度用地補償着手	S49年度工事着手
全体事業費	約220億円	事業進捗率	92% 供用済延長 3.6 km
計画交通量	1,520台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.0 (残事業) 13.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 25 / 319 億円 (事業費：20/315億円 維持管理費：4.7/4.7億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 326 / 326 億円 (走行時間短縮便益：261/261億円 走行経費減少便益：52/52億円 交通事故減少便益：13/13億円)
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=14.4 (交通量 +10%) B/C=11.9 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C=12.1 (事業費 +10%) B/C=14.3 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=13.1 (事業期間+0年) B/C=13.1 (事業期間-0年)			
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・災害への備え（近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2ヶ所の道路寸断で孤立化する集落を解消する） ・その他（その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待できる） 他4項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 本路線は、水産業・観光をはじめとした経済活動を支え、地域間の交流、連携、自立的発展に不可欠であることから、檜山管内7町の首長によって構成される期成会などが早期整備を要望。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成9年度に北海道縦貫自動車道（虻田洞爺湖IC～長万部IC間）供用開始。 平成13年度に北海道縦貫自動車道（長万部IC～国縫IC間）供用開始。 平成18年度に北海道縦貫自動車道（国縫IC～八雲IC間）供用開始。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 昭和49年度より工事着手し、用地進捗率99%、事業進捗率92%となっている。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。			
施設の構造や工法の変更等 設計手法の見直し（トンネル内空断面縮小）等によるコストの縮減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。